

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
半期	2 年	2	選択
担当教員			
河合 博子			
B (経営学科)	S (専門科目)	IF (情報)	201 (中級科目)

授業のねらい (概要)	各事業体や組織内において、インターネットを経由した通信が安全かつ確実に実行されるための情報ネットワークの仕組みや構造についての基礎的・専門的知識を学ぶことにより、実社会での情報ネットワークの利活用についての理解を図る。ネットワークの形態、有線・無線通信の仕組み、トラブルシューティング、クラウドコンピューティング等について学修を行う。		
授業計画	第1回	[遠隔] インTRODクシヨン「事業組織と情報ネットワーク」 講義概要・到達目標・成績評価の方法など 予習 (時間) : シラバスや掲示を確認し、教材用サイトを利用できるようにする (60) 復習 (時間) : 授業時の指示に従い、予習復習用のPC (またはタブレット端末やスマートフォン)、ネットワーク環境を整える (180)	
	第2回	[遠隔] コンピュータネットワークの基礎知識 スーパーコンピューティング/LAN・WAN/クライアント・サーバ/クラウドコンピューティング等 (1章) 予習 (時間) : 前回の指示に従い、用語の意味を確認し、PC (またはタブレット端末やスマートフォン) で授業用サイトに書き込む (120) 復習 (時間) : 授業時の指示に従い、ノートを整理し、リフレクションと共に授業用サイトに書き込む (120)	
	第3回	[遠隔] TCP/IPの基礎知識 (1) TCP/IPの仕組み (2章) 予習 (時間) : 前回の指示に従い、用語の意味を確認し、PC (またはタブレット端末やスマートフォン) で授業用サイトに書き込む (120) 復習 (時間) : 授業時の指示に従い、ノートを整理し、リフレクションと共に授業用サイトに書き込む (120)	
	第4回	[遠隔] TCP/IPの基礎知識 (2) TCP/IPの仕組み・プロトコル・OSI参照モデル・パケット (2章) 予習 (時間) : 前回の指示に従い、用語の意味を確認し、PC (またはタブレット端末やスマートフォン) で授業用サイトに書き込む (120) 復習 (時間) : 授業時の指示に従い、ノートを整理し、リフレクションと共に授業用サイトに書き込む (120)	
	第5回	有線LANの基礎知識 (1) TCP/IP・IPアドレスの仕組み・IPv4・IPv6のアドレス管理・ポート番号 (3章) 予習 (時間) : 前回の指示に従い、用語の意味を確認し、PC (またはタブレット端末やスマートフォン) で授業用サイトに書き込む (120) 復習 (時間) : 授業時の指示に従い、ノートを整理し、リフレクションと共に授業用サイトに書き込む (120)	
	第6回	有線LANの基礎知識 (2) ルーティングの仕組み (3章) 予習 (時間) : 前回の指示に従い、用語の意味を確認し、PC (またはタブレット端末やスマートフォン) で授業用サイトに書き込む (120) 復習 (時間) : 授業時の指示に従い、ノートを整理し、リフレクションと共に授業用サイトに書き込む (120)	
	第7回	[課題1] 中間テスト (中規模組織の有線LAN構築) インターネットとネットワークサービス (4章) 予習 (時間) : 前回の指示に従い、2回から6回の講義内容をノートで再確認する (120) 復習 (時間) : 前回の指示に従い、中間テスト問題を解き、解答用紙に解答を記入し、A-Portalのレポート管理から提出する。	
	第8回	通信ができないときのトラブル対策 通信状態の確認方法 (4章の11) 予習 (時間) : 前回の指示に従い、用語の意味を確認し、PC (またはタブレット端末やスマートフォン) で授業用サイトに書き込む (120) 復習 (時間) : 授業時の指示に従い、ノートを整理し、リフレクションと共に授業用サイトに書き込む (120)	

	第9回 セキュリティと暗号化 (1) ファイアウォール・アンチウイルス・攻撃防御 (5章1-5) 予習 (時間) : 前回の指示に従い、用語の意味を確認し、PC (またはタブレット端末やスマートフォン) で授業用サイトに書き込む (120) 復習 (時間) : 授業時の指示に従い、ノートを整理し、リフレクションと共に授業用サイトに書き込む (120) 第10回 セキュリティと暗号化 (2) 認証・暗号 (5章6-8) 予習 (時間) : 前回の指示に従い、用語の意味を確認し、PC (またはタブレット端末やスマートフォン) で授業用サイトに書き込む (120) 復習 (時間) : 授業時の指示に従い、ノートを整理し、リフレクションと共に授業用サイトに書き込む (120) 第11回 セキュリティと暗号化 (3) 公開鍵・PKI/ハッシュ関数・電子署名 (5章9-14) 予習 (時間) : 前回の指示に従い、用語の意味を確認し、PC (またはタブレット端末やスマートフォン) で授業用サイトに書き込む (120) 復習 (時間) : 授業時の指示に従い、ノートを整理し、リフレクションと共に授業用サイトに書き込む (120) 第12回 [課題2] 中規模組織のセキュリティ対策 予習 (時間) : 前回の指示に従い、8回から11回の講義内容をノートで再確認する (120) 復習 (時間) : 前回の指示に従い、中間テスト問題を解き、解答用紙に解答を記入し、A-Portalのレポート管理から提出する。 第13回 無線LANの基礎知識 (1) (6章1-6) 予習 (時間) : 前回の指示に従い、用語の意味を確認し、PC (またはタブレット端末やスマートフォン) で授業用サイトに書き込む (120) 復習 (時間) : 授業時の指示に従い、ノートを整理し、リフレクションと共に授業用サイトに書き込む (120) 第14回 無線LANの基礎知識 (2) (6章1-6) 予習 (時間) : 前回の指示に従い、用語の意味を確認し、PC (またはタブレット端末やスマートフォン) で授業用サイトに書き込む (120) 復習 (時間) : 授業時の指示に従い、ノートを整理し、リフレクションと共に授業用サイトに書き込む (120) 第15回 [課題3] 小レポート (中規模組織の無線LAN の構築) 予習 (時間) : 前回の指示に従い、13回、14回の講義のノートを再確認する (120) 復習 (時間) : 前回の指示に従い、まとめた結果を小レポートを、A-Portalのレポート管理から提出する (120)
授業を通して身に付けることができる能力 (DP)	DP「商学部」の 2) 情報の収集、分析を行い、進んで課題解決に臨む姿勢 3) 専門的分野の学びを、実務や社会で応用できる能力 DP「経営学科」の 2) 経営資産 (ヒト・モノ・カネ・情報) を多面的に理解し、活用できる能力 [身に付くスキル] 協働力・課題解決力
到達目標	①情報ネットワークに関する用語を正しく定義でき、説明できる。 ②ネットワークの基本的な仕組みを理解し、説明できる。 ③IPアドレスの仕組みと通信方法を理解し、説明できる。 ④簡単なネットワークトラブルの原因の発見と解決方法を理解し、実践できる。 ⑤実社会での情報ネットワークの利活用について理解し、説明できる。
課題や小テスト等のフィードバックの方法	授業時間内あるいはMellyでの文書で全体的な解説を行うと共に、必要に応じて個別への指示を行う。課題内容についての質問もMellyで受け付ける。
履修上の注意	授業内の課題は必ず解答し、提出すること。講義のノートをまとめておくこと。 後期に「情報セキュリティ論」を履修する予定者は、「情報ネットワーク論」の履修済み、または、同等の知識が前提条件となっているので、本科目を必ず履修しておくこと。
成績評価の方法・基準	定期試験 (60%) 課題3回 (中間テスト2回とレポート1回) (30%)、授業内課題 (10%)、
教科書	福永 勇二 (著) 『ネットワークがよくわかる教科書』 SBクリエイティブ 2018/9/21、2178円 ISBN-10: 4797393807 ISBN-13: 978-4797393804
参考書・教材	[教材] 授業担当者が作成した鴨居媒体使用、授業用サイト、PC用データを使用する。教員の指示に従うこと。
備考	講義科目／実務家教員による授業 2020年度は、7、12、15回を課題研究として学修する。 第7回 当初シラバスの「授業時の講義内容」に充当する資料と「授業時の指示」を代替する資料の配信、および作業指示をMellyなどで行い、調査結果の小レポート作成や提出は当初シラバスどおり実施する。これらの指

	示確認等を5、6回の対面授業で行う。全体で330分の学修を想定している。 第12回 7回同様の実施として、指示確認を10、11回の対面授業で行う。全体で330分の学修を想定している。 醍15回 7回同様の実施として、指示確認を13、14回の対面授業で行う。全体で330分の学修を想定している。 「成績評価の方法・基準」欄の「定期試験」は「最終レポート」で代替する。実施方法の詳細と評価基準は第1回で概要を授業中およびMellyで告知し詳細を第10回で同様に告知する。
教員との連絡方法	基本的に、A-portalでの出欠登録、Mellyでのリフレクション記入、Google formでの質問、Zoom、YouTube等を併用する。